

PCフォーラム

JA水郷つくばパソコン研究会会報

2023年9月号 <https://dappe.com>

Mail: dappepc@dappe.com



事務局:土浦市田中-1-4
JA 水郷つくば営農部
営農企画課
電話 029-823-7001



■みなさんこんにちは。

9月に入ると、本州付近に秋雨前線が停滞しやすくなる見込みです。曇りや雨のぐずついた天気になり、猛烈な暑さは収まりそうです。とはいっても、秋めくとはとても言い難く、残暑はまだまだ厳しいでしょう、ということです。本州付近に秋雨前線が停滞しやすく、秋晴れは少なく台風シーズンが続きます。稲刈りやレンコン収穫となり、値上がりした肥料や資材を使って生産しているのですから、農産物価格は期待したいですね。

パソコン研究会は、SNSやメールを利用して集まらなくても質問や意見交換をして情報を共有し学習効果が出せる一番の研究会です。どうぞ、積極的にライングループやメールでお知らせください。

定例会予定

- 9月5日、19日 WEB
- 12日 定例会講座
- 26日 PCフォーラム発行、講座など
- 10月3日 10日、24日 WEB、
- 17日 定例会
- 31日 PCフォーラム発行、講座、スマホなど



■今月の特集
フィッシング詐欺事件増加中



警察庁とインドネシア国家警察は日本で起きたフィッシング詐欺事件をインドネシアから指揮したとして、同国籍のデア容疑者を7月に逮捕したと発表しました。警察庁が他国との本格的な共同サイバー捜査で容疑者を摘発したのは初めてといます。デア容疑者が不正に購入した商品は、府警が逮捕した男に配送されていたことが判明。男は商品を転売し、利益をデア容疑者に送金する仕組みだったのです。警察庁によると、計約360万円相当の商品が不正に購入され、約320万円がデア容疑者に送金されたといえます。

男は世界中で被害を生んだ「16SHOP」と呼ばれるフィッシングツールを使っていました。国際刑事警察機構（ICPO）の主導でインドネシア警察が2021年に17歳の時にツールを開発したインドネシア人の男を逮捕していたことも判明しています。ICPOは「16SHOP」について20年ごろから「キングフィッシャー作戦」と名付けた国際共同捜査を展開しており、今年7月の逮捕もその一環でした。

フィッシングによるとみられるインターネットバンキングの不正送金事件は今年に入って急増しています。今年1～6月で2322件、被害額は約30億円に上り、いずれも上半期として過去最悪。件数は過去の同年の数字をすでに上回っているのです。

「16SHOP」は、フィッシングメールで認証情報やクレジットカード番号等の情報を窃取して悪事を働こうとするサイバー犯罪者にとっては有り難い存在だったに違いありません。なぜなら「16SHOP」に登録してライセンスを購入しさえすれば、簡単にフィッシングメールを送信してフィッシングサイトに誘導し、様々な個人情報情報を窃取することができたからです。

43ヶ国7万人を侵害したというこのフィッシングツールは8カ国以上の言語に対応し、Apple、PayPal、American Express、Amazon、Cash Appなどのユーザーを対象に、ドイツ、日本、フランス、アメリカ、イギリス、タイなどにフィッシングメールを送信するもので、毎日のように送られてくるフィッシングメールの中には「16SHOP」を使って送信されていたメールも少なからずあったのではないかと推察されます。今回の逮捕で「16SHOP」は閉鎖されたということですが、ツールは拡散していると思われるので今後もフィッシング詐欺には充分気をつける必要があります。

【事例1】金融機関やカード会社になりすましたフィッシング詐欺

金融機関やカード会社になりすましたフィッシング詐欺は代表的な例とも言え、相変わらず多い傾向にあります。

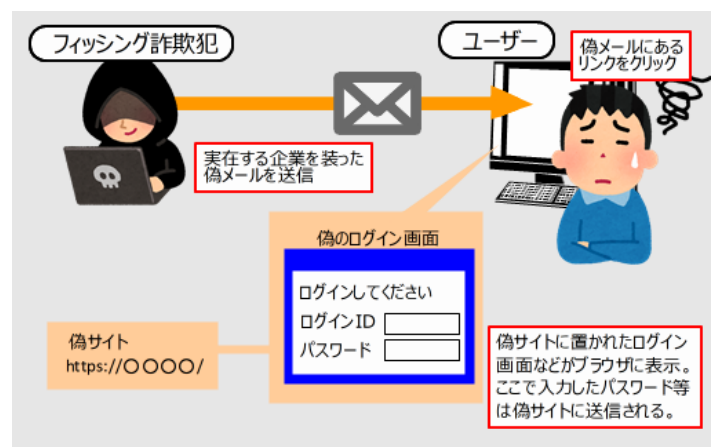
悪用者が金融機関やカード会社になりすまして送ってくる連絡の例は、次のとおりです。

- 取引制限：「不正な取引があったため、アカウント情報を一時的にロックした」

- お客様情報の確認：「プライバシーポリシーを変更したため、アカウント情報をご確認ください」

また、フィッシングの方法は次のようなものが確認されています。

- フィッシングメール：なりすましメールの中に偽サイトのURLを添付し、クリックさせたいという情報を盗み取る
- スミッシング：なりすましたSMSに偽サイトのURL



メールのリンクは安易にクリックしない。



ID やパスワードを安易に入力しない。

充分気を付けましょう！今回の特集担当は宮崎でした。

